

公表：令和 6年 3月 1日

事業所名 多機能型事業所 ぴっころ円山

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改 善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			活動内容や子どもの状態に応じて、使用する場所や座る位置等を調整している。	子どもが自分で活動に向かいやすい環境となるよう、設定を振り返っている。
	② 職員の配置数は適切であるか	○				
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○				
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○				
業務 改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			保護者評価や日々の相談から得た意見を支援の見直しに活かしている。	意見を個別対応だけで終わらせず、事業所全体の支援改善にもつなげている。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○				
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○				

適切な支援の提供	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○		
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			研修等で得た視点を職員間で共有している。	知識の共有に加え、実際の子どもの姿に当てはめて考える機会を増やしていく。
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○				
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			アセスメントをもとに、子どもの得意なことや苦手な場面を整理している。	できる・できないだけでなく、取り組みやすい条件も支援計画に反映していく。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか		○			
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○				
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			活動は職員間で相談し、子どもの発達や興味を踏まえて設定している。	活動そのものを目的にせず、個々の支援目標とのつながりを確認していく。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			同じ活動でも参加方法を調整し、子どもが選べる場面を取り入れるよう意識している。	利用曜日による経験の偏りも確認しながら、活動内容を検討していく。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	○				
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○				

	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○				
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日々の記録には、結果だけでなく子どもの反応や関わり方も残すよう意識していく。	次の支援に活かせるよう、うまくいった条件や変化を具体的に記録していく。
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○				
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか					
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか					
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか					
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			必要なケースでは園等と子どもの様子を共有している。	園と事業所で異なる姿も含め、支援に必要な情報を整理して共有していく。
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか			○		

連 携	⑳	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○				
	㉑	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○		
	㉒	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○			
	㉓	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			家庭と事業所での様子を伝え合い、子どもの変化を確認している。	家庭でも活用しやすいよう、具体的な関わり方や取り組みやすい条件を共有していく。
	㉔	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか		○			
保 護 者 へ	㉕	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				
	㉖	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○				
	㉗	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			相談や申入れがあった際には内容を確認し、必要な対応につなげている。	保護者が相談しやすい方法やタイミングについても意識していく。
	㉘	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		活動の様子等について情報発信を行っている。	活動内容だけでなく、支援のねらいや子どもの育ちが伝わる発信を検討する。

の 説 明 責 任 等	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○				
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○			
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○				
	③⑨	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○				
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○		
非 常 時 等 の 対 応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			ヒヤリとした事例を職員間で共有している。	事故防止に加え、行動の背景や環境設定を振り返る材料として活用していく。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○				
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○				
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	○				
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○				

④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○				
④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか					

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

公表：令和 6年 3月 1日

事業所名 多機能型事業所 ぴっころ円山

保護者等数（21家庭）

回収数

20家庭

割合

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	19	1				
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	18	1		1	職員の方が子どもの様子をよく見てくれていると感じます。	日々の様子を丁寧に捉え、必要な支援につなげられるよう努めます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	15	2		3		
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	19	1				
適切 な 支 援	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	19	1				
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	16	2		2	支援計画の内容は分かりますが、活動と目標がどうつながっているのかも知りたいです。	日々の活動と支援目標のつながりが伝わるよう、説明の仕方を工夫します。

援 の 提 供	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	18	1		1		
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	17	2		1	同じ曜日でもいろいろな経験ができると嬉しいです。	子どもの反応や経験の幅を確認しながら、活動内容を検討します。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	2	4	11	園以外の子どもの交流については、よく分かりません。	交流に関する取組や考え方について、必要な情報を分かりやすく伝える方法を検討します。
保 護 者 へ の 説 明 等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	19	1				
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がされたか	18	1		1		
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	7	4	3	6	家庭で困った時に、ぴっころでうまくいった方法を教えてもらえると助か	事業所で取り組みやすかった条件や関わり方を、家庭でも活用しやすい形で共有できるよう努めま
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、共通理解ができているか	19	1				
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	17	2		1		
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	15	3		2	面談で成長したところを具体的に聞けると嬉しいです。	課題だけでなく、成長や取り組みやすくなった場面も具体的に共有します。

	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	2	2	7	9	保護者同士の交流については、今のところよく分りません。	保護者のニーズを確認しながら、必要な支援や交流のあり方を検討します。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	17	2		1		
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	19	1				
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	17	1		2	ホームページで活動の様子を見ることができて安心します。	活動の様子に加え、支援のねらいも伝わりやすい情報発信を検討します。
非常時の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	19			1		
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	13	2		5	防災や緊急時の対応について、改めて確認できると安心です。	非常時の対応について、保護者が確認しやすい情報提供の方法を検討します。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	12	2		6		
	㉓	事業所の支援に満足しているか	19	1			本人が毎回楽しみにしていて、できることが増えたと感じます。	本人の意欲を大切にし、成功しやすい条件を捉えながら支援につなげます。

◎ この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。